

# 歯科大学初の 新潟オープン

# N認知症カフェ



エプロン姿の学生たちと店長の赤泊助教(後列右から2人目) サポートする歯科医師、歯科衛生士、看護師、管理栄養士



毎回イベントを考え、患者さんや家族の方たちと交歓

本学では昨年12月、新潟生命歯学部キャンパス内に、認知症カフェ「Nカフェ・アングル」をオープンした。厚生労働省が2015年に関係省庁と共同で策定した新オレンジプランには、「認知症の人の介護者への支援」が組み込まれ、「認知症カフェ」の推進が挙げられている。歯科大学としては、認知症に関する研究と学生教育は必須であり、歯科医師の認知症対応能力が求められることから、本学では認知症カフェ開設の準備を進めてきた。

カフェは、昨年12月9日に第一回を開き、つづいて本年1月27日、2月16日の日曜日に、午前9時から12時まで「開店」した。参加費は無料で、今後毎月一回程度の開催を予定している。店名の「N・カフェ・アングル」のNは、認知症の略で、アングルは歯科矯正学から名づけた。以前講堂で営業していた喫茶室の店名でもあったが、旧喫茶室を改修し、認知症カフェとしてオープンした。

カフェ開店日には、患者さんや家族の方々、歯科医師、歯科衛生士、看護師、栄養士、学生ボランティアが参加し、コーヒーやお茶を飲みながら、

最近では高齢者との同居経験のない学生が多いため、認知症患者との接遇体験を通して、高齢者診療に対応できる下地作りをめざしている。また

「Nカフェ・アングル」のオープンは、地元紙「新潟日報」や全国紙の地域版でも幾度か取りあげられた。カフェ店長を務める新潟病院訪問歯科口腔ケア科の赤泊圭太助教は、地元メディアのインタビューに

「認知症の人を介護する人への支援も、基本的な考え方に取り入れた。地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う認知症カフェ等の設置を推進し、生活と介護の両立を支援

養成講座を修了した学生には、オレンジリングを配付する。Nカフェ・アングルのオープンは、地元紙「新潟日報」や全国紙の地域版でも幾度か取りあげられた。カフェ店長を務める新潟病院訪問歯科口腔ケア科の赤泊圭太助教は、地元メディアのインタビューに

「認知症の人を介護する人への支援も、基本的な考え方に取り入れた。地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う認知症カフェ等の設置を推進し、生活と介護の両立を支援

養成講座を修了した学生には、オレンジリングを配付する。Nカフェ・アングルのオープンは、地元紙「新潟日報」や全国紙の地域版でも幾度か取りあげられた。カフェ店長を務める新潟病院訪問歯科口腔ケア科の赤泊圭太助教は、地元メディアのインタビューに



東京千代田区富士見  
日本歯科大学新聞会  
発行兼人 中原 泉  
編集人 偶数月末日  
発行日 1部10円  
定価 (〒951-8580)  
新潟市中央区浜浦町1-8  
☎025(267)1500



Nカフェのシンボルマーク

※新オレンジプランでは、認知症の人を介護する人への支援も、基本的な考え方に取り入れた。地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う認知症カフェ等の設置を推進し、生活と介護の両立を支援

養成講座を修了した学生には、オレンジリングを配付する。Nカフェ・アングルのオープンは、地元紙「新潟日報」や全国紙の地域版でも幾度か取りあげられた。カフェ店長を務める新潟病院訪問歯科口腔ケア科の赤泊圭太助教は、地元メディアのインタビューに

「認知症の人を介護する人への支援も、基本的な考え方に取り入れた。地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う認知症カフェ等の設置を推進し、生活と介護の両立を支援

養成講座を修了した学生には、オレンジリングを配付する。Nカフェ・アングルのオープンは、地元紙「新潟日報」や全国紙の地域版でも幾度か取りあげられた。カフェ店長を務める新潟病院訪問歯科口腔ケア科の赤泊圭太助教は、地元メディアのインタビューに

養成講座を修了した学生には、オレンジリングを配付する。Nカフェ・アングルのオープンは、地元紙「新潟日報」や全国紙の地域版でも幾度か取りあげられた。カフェ店長を務める新潟病院訪問歯科口腔ケア科の赤泊圭太助教は、地元メディアのインタビューに

養成講座を修了した学生には、オレンジリングを配付する。Nカフェ・アングルのオープンは、地元紙「新潟日報」や全国紙の地域版でも幾度か取りあげられた。カフェ店長を務める新潟病院訪問歯科口腔ケア科の赤泊圭太助教は、地元メディアのインタビューに

## 佐野 新潟短大 学長 逝去



故人が愛した青い海・サーフィンをモチーフにした祭壇、遺影に語りかける「偲ぶ会」発起人代表の山口晃新潟病院長

日本歯科大学新潟短期大学学長で、新潟生命歯学部歯科麻酔学講座の佐野公人教授は、2018年12月16日に逝去された。享年65。佐野教授は1954年(昭和29)2月生。1972年(昭和47)4月に開校した新潟歯学部第一期生として入学し、1978年3月卒業(第67回卒)。

同年6月新潟歯学部歯科麻酔学教室助手等を経て、2002年4月新潟歯学部附属病院歯科麻酔学教授、08年新潟生命歯学部歯科麻酔学講座教授に就任し、図書館長などを歴任した。17年(平成29)4月からは、新潟短期大学学長を務めた。2019年1月27日に新潟グランドホテルで開催された偲ぶ会には、中原理事長・学長はじめ、本学関係者や学会、友人など450名が参列した。

### 訃報

元校友会長  
朝比奈敏行先生逝去

日本歯科大学校友会元会長で、同会名誉会員の朝比奈敏行先生は、昨年2018年9月29日に逝去された。享年94。朝比奈先生は1948年(昭和23)本学卒業(第37回卒)、日本歯科大学新聞

多摩クリニクに「とろみボタン」付き自動販売機を設置  
嚥下が困難な高齢者の食生活を支援するため、食物への添加物として「とろみ材」が使われている。このたび、日本初の新機能「とろみボタン」付きのカップ式自動販売機が開発された。

この自販機は、(株)アベックスとニュートリー

の初代編集長として本紙発行に尽力された。

辞令  
助 教 深田 哲也  
生命歯学部薬理学講座に配置換えを命ずる(生命歯学部共同利用センター)

「とろみボタン」付き自動販売機は、病院への導入を皮切りに、2021年にはサービス付き高齢者住宅や有料老人ホーム等、高齢者施設に2万台の設置を計画しているという。

共同利用研究センター内に設置の排気装置で本学教員が揮発性物質を使用する作業を行っていた際、排気装置の電源切替時の放電により引火し、当該教員は手や顔に軽傷を負いました。火はすぐに消火したものの、天井と壁面の一部が破損しました。消防と警察による現地調査が行われ、安全が確認されました。

2019年(平成31)1月29日午前8時35分頃、本学生命歯学部共同利用研究センター内で出火した。本館地下の同センターには、放射性物質を取り扱う施設があるが、火災はすぐに消火され、放射線の漏洩もないことが確認された。

2019年(平成31)1月29日午前8時35分頃、本学生命歯学部共同利用研究センター内で出火した。本館地下の同センターには、放射性物質を取り扱う施設があるが、火災はすぐに消火され、放射線の漏洩もないことが確認された。

2019年(平成31)1月29日午前8時35分頃、本学生命歯学部共同利用研究センター内で出火した。本館地下の同センターには、放射性物質を取り扱う施設があるが、火災はすぐに消火され、放射線の漏洩もないことが確認された。

2019年  
平成31年

# 入学試験を施行

## 両学部部の合格者発表 東京短大、新潟短大の入学試験も

2019年度(平成31)の日本歯科大学入学試験は、1月中旬のセンター試験と2月初旬の本学試験をもって東京で施行し、両学部部の合格者を発表した。本年も同一試験日に、生命歯学部と新潟生命歯学部との受験と併願が可能な「全学部入試」を実施した。あわせて、東京短期大学と新潟短期大学の入学試験が行われた。

2019年度の入学試験は例年のように、大学入試センター利用入学試験と、本学で実施する一般選抜試験の2本立てで行われた。

併願が可能な「全学部入試」を一般選抜とセンター利用入試で実施した。計3科目の学力試験(一般選抜入学試験の前)は、生命歯学部(東京)において英語科目(物理・化学・生物のうちから選択)1科目、計3科目の学力試験ならびに面接試験を2月1日に実施し、4日に合格者を発表した。



本学では本年も、同一試験日に両学部部の受験と併願が可能な「全学部入試」を一般選抜とセンター利用入試で実施した。計3科目の学力試験(一般選抜入学試験の前)は、生命歯学部(東京)において英語科目(物理・化学・生物のうちから選択)1科目、計3科目の学力試験ならびに面接試験を2月1日に実施し、4日に合格者を発表した。

### NDU Open Campus 2019

受験者はもちろん、どなたでも参加できます

#### ◇生命歯学部

7/21(日・通常)、7/24(水・多摩クリニック見学)、8/8(木・入試対策)、8/24(土・模擬授業)、9/29(日・附属病院見学)、10/26~27(土・日・通常・富士見祭)

#### ◇新潟生命歯学部

6/8(土・浜浦祭)、7/6(土)、7/24(水)、8/6(火)、8/24(土)、9/28(土) 10:30受付、11:20開始、16:00終了  
新潟生命歯学部で実施するAO入試の受験には、オープンキャンパスへの参加が必須です(前年度の参加も可)。

#### ◇東京短期大学(会場は九段ホールと東京短大)

7/23(火)、7/25(木)、7/26(金)、8/23(金)、10/26~27(土・日・富士見祭)、12/23(月)  
※7/25、7/26、10/26~27は午前(10:00~)、午後(13:30~)の2回開催、7/23、8/23、12/23は午後13:30のみ。  
※5/12(日)に日曜相談会、10/26~27の富士見祭では職業体験会が開かれます。

#### ◇新潟短期大学

5/19(日)、6/8(土・浜浦祭)、7/20(土)、8/1(木)、8/22(木)、10/12(土) 12:30受付、13:00開始、16:00終了、8/22は15:30終了  
※歯科衛生士の仕事や女子力UPの授業・講義が体験できます。

### 附属病院 医療連携学術講演会



350名余の受講者であふれた富士見ホール

学科と歯科衛生学科の一一般A入学試験は、2月10日に学力試験と面接試験を実施した。一般B入学試験は、3月9日に小論文と面接試験を、歯科

東京短期大学歯科技工試験開始前、担当者から注意事項を聞く受験生たち

昨年9月13日(木)と11月18日(日)に、飯田橋駅前の附属病院において医療連携学術講演会が開催された。

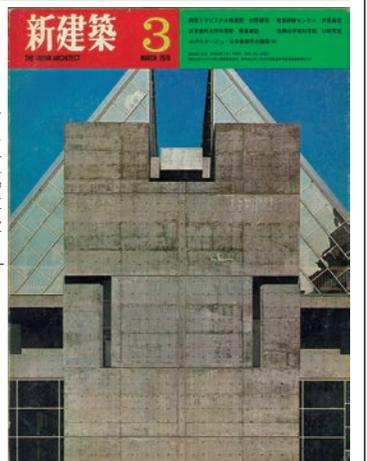
9月の第1回講演会では、160名の定員が事前受付ですぐに満員となり、最終的に350名の参加者からは短時間で会場を富士見ホールへ変更して開催した。当日の講演は次の通り。

- ①「見逃しがちなパノラマエックス線像」岩田洋准教授(放射線・口腔病理診断科)
- ②「知らない怖い局所麻酔の話」塩谷毅講師(歯科麻酔・全身管理科)
- ③「ちよつと待った!」その抜歯ハマっちゃうかもよ」岡村尚助教(歯科口腔外科)
- ④「歯内療法を行うか?」行わないほうが良いか?の判断は如何に」北村和夫教授(総合診療科1)
- ⑤「CAD/CAM冠の接着は何故大切なか?」山瀬勝准教授(総合診療科2)

懇親会では演者への質問が相次いだ。様々な分野の話が聞けて良かったと好評だった。学術講演会終了後には、展示ホールで演者や各診療科の先生方との懇親会があり、親睦を深めた。第2回講演会は、11月

医療連携学術講演会は患者紹介の実績がある施設を対象に、附属病院との連携を深めるために開催している。附属病院医療連携室では、今後も興味深い講演会やイベントで、医療連携のさらなる活性化をめざしていきたい。(附属病院 医療連携室 室長 小川智久)

工学科の一般C入学試験は3月20日に面接試験を実施した。新潟短期大学歯科衛生学科では、大学入試センター利用入学試験を2月3日に、一般選抜前期入学試験を3月16日に実施した。



『新建築』誌の表紙を飾った東京の体育館(1970年3月号)

4月に体育会設立50周年記念祝賀会日本歯科大学運動部の歴史は古く、専門学校時代は箱根駅伝に17回出場した。昭和40年代には体育会はなく、学生会の下に文化部と体育部があった。昭和44年(1969)に、椋木浩治先生(第60回卒)が、組織改革を行い、体育部から体育会に改称した。設立50年を迎える本年

2019年は平成最後の年であり、また飯田橋駅前の体育館が開館して50年となることから、祝賀会が開催されることになった。開催日時は、4月20日(土)午後6時より、会場はホテルメトロポリタエントメント「悠久の間」で、体育会の出身者だけでなく、在学中に各クラブに在籍した卒業生にもひろく呼びかけている。会費は1万5千円。

発起人代表・椋木浩治(第60回卒、実行委員長)・藤井重壽(第62回卒)、実行副委員長・丸山進一郎(第66回卒)、石垣佳希(第79回卒)の各先生。※記念祝賀会の詳細は『校友会・歯学会会報』44巻3号、P.30に掲載。

# 中山医学大学との交換学生

姉妹校である台湾の中山医学大学(CUMU)との交換学生は、本年度4回目となる。

本学では、2018年の3月3日から17日まで、両学部の学生4名を派遣した。中山医学大学では学内の諸施設で見学と研修を行い、休日には台湾の景勝地を観光した。

中山医学大学の一行は、10月1日に来日し、新潟生命歯学部で3週間、東京の生命歯学部で1週間にわたり研修した。新潟生命歯学部と新潟病院では、研修プログラムを策定し、総合診療科をはじめ病院の各科で最先端の歯科医学を学んだ。学生たちは研修中、担当教員や医員に熱心に質問し、丹念にノートをとっていた。休日には新潟市内を観光、教職員らとも交流を図った。

10月21日には東京に向い、翌日は沼部幸博生命歯学部長と面会、生命歯学部では、本学の生命歯学研究について説明を受けた。また次の日は豊洲のモリタシヨールームで、最新の歯科器械・器具を手にとった。

附属病院では、院内の学生たちは帰国後、新潟病院での研修体験レポートを各自がまとめ、新潟生命歯学部へ送られた。【中山医学大学へ派遣】生命歯学部 中山理賀 松原 萌

新潟生命歯学部 猪子 修平 加藤佑佳子

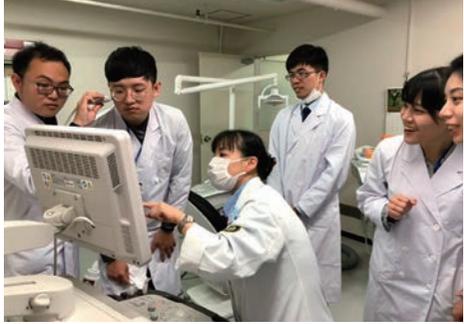
【中山医学大学研修生】 Ms. Lin-Wen Chang Mr. Yu-Sheng Chen Ms. Wing-Sze Liu Ms. Yan-Yi Liu Mr. Han-Yu Tsai Mr. Tsung-Chieh Wang



△沼部幸博生命歯学部長、菊池憲一郎学生部長を訪問(東京) <レトロ感ただよ九份の町なみ(台湾)>



新潟・ラブラ万代のどんぐり共和国



歯科放射線・亀田綾子講師による画像の読影(新潟)



世界的に有名な奇美美術館で(台湾)

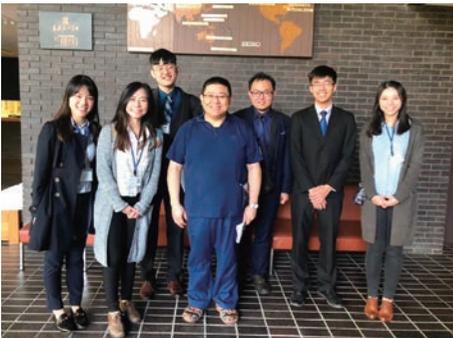


中山医学大学歯学部の正面玄関(台湾)

## CUMU ↔ NDU Exchange



中山医学大学の教授や学生と食事会(台湾)



口腔外科・小林英三郎講師とともに(新潟)



GAKUSHOKUランチを満喫(新潟)



多摩クリニックでは口腔リハビリを研修(東京)



矯正・長谷川優講師から説明を受ける(新潟)



黒川裕臣クリニック院長の夕食会(新潟)

### 附属病院：患者待合のソファー入れ替え 木製のやさしい雰囲気・ベッドタイプも



東京の附属病院では、1階患者待合ロビーのソファーの老朽化が進んだため、昨年12月末に新製品に入れ替えた(写真)。待合ロビーのソファーのほとんどが、1988年の病院開設時から30数年間使用してきた。今回入れ替えたソファーの特徴は、高齢化社会を見据えて温かさや快適性を重視した。立ち上がりやすい肘掛けソファー

を多く設置し、何よりも家具調でやさしい雰囲気の配色にした。また、震災時にベッドとして利用できる、ベンチベッドタイプのソファーも配置した。

本年度は1階ロビーを対象としたが、毎年各診療科の患者待合ソファーを入れ替えていく計画である。

(附属病院 病院事務部長 鈴木洋一)

**五十嵐講師(東京歯大) 禁煙学会最優秀賞**

2018年11月10日(土)11日(日)に、かがわ国際会議場サンポートホール高松において、第12回日本禁煙学会学術総会が開催された。生命歯学部歯周病学講座の五十嵐寛子講師が、第2回繁田正子賞最優秀賞を受賞した。

発表した演題は、「禁煙がヒト歯根膜由来血管内皮細胞に与える効果について」。

一般社団法人日本禁煙学会は、禁煙および受動喫煙防止に関する学術研究・調査の推進を目的に、当初はNPO法人として2006年に設立された。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、他の保健・医療関係者だけでなく、禁煙に関心を持つ一般の人たちにも呼びかけ、禁煙および

受動喫煙防止を推進する活動を展開している。「日本禁煙学会繁田正子賞」は、喫煙防止教育や後進の育成に情熱を捧げた故繁田正子医師(京都



表彰状を手にする五十嵐講師(右)

前号から算用数字で表記本紙の紙面構成は夕テ組みのため、創刊以来「一、二」と漢数字を用いていた。現在は全国紙などで、記事の文章は「1、2」と算用数字を用いている。本紙も昨年の654号から、原則として算用数字で表記することにした。

新聞会

府立医科大学)を記念して設けられた。

### 2019年度 歯学会大会のご案内

2019年度日本歯科大学歯学会大会・総会を以下の通り開催いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

- 日時：2019年6月8日(土) 11:00~16:30 (予定)
- 会場：生命歯学部本館富士見ホール・1階ホール
- メインテーマ『研究成果と臨床応用』
- ◆基調講演 「臨床研究方法について」(仮題) 岩淵博史先生(神奈川歯科大学大学院顎顔面外科学分野)
- ◆シンポジウム 座長：生命歯学部歯科麻酔学講座：篠原健一郎 演者：生命歯学部補綴学第1講座：小見野 真梨恵 生命歯学部補綴学第2講座：新妻瑛紀 生命歯学部歯科麻酔学講座：筒井友花子
- ◆学術研究奨励賞受賞講演
- ◆一般演題(ポスター発表) 大会長：砂田勝久(生命歯学部歯科麻酔学講座教授) 準備委員長：篠原健一郎(生命歯学部歯科麻酔学講座講師) 問い合わせ：Tel 03(3261)2480 Eメール：katsu.sunada@nifty.com

### 公告

前号から算用数字で表記

# 東京都現代美術館リニューアルオープン 企画展：百年の編み手たち 中原實名誉学長の絵画を展示

● 3月29日～6月16日 ● 東京都美術館(東京都江東区三好) ●

中原實名誉学長の作品が寄贈されている東京都現代美術館(東京・木場)は、諸設備の改修のため休館していたが、2019年3月下旬にリニューアル・オープンする。このリニューアルを記念して、企画展「百年の編み手たち―流動する日本の近現代美術―」が開かれることになった。同展は、1910年代から現在までの百年にわたる日本の美術について、独自の創作を展開した作家たちの作品を紹介する。日本に洋画が根付いた



中原實：杉の子、167×135cm、油彩、1947年

大正時代から現在まで、美術家たちはその時々の課題と向き合い、「日本の美術のありよう」をめぐる。このリニューアルを記念して、企画展「百年の編み手たち―流動する日本の近現代美術―」が開かれることになった。同展は、1910年代から現在までの百年にわたる日本の美術について、独自の創作を展開した作家たちの作品を紹介する。日本に洋画が根付いた

口腔リハビリテーションセンター多摩クリニックの田村文彦教授は、本年3月1日付で、中央社会保険医療協議会(中医協)の専門委員に就任した。

## 田村教授(東京・口腔リハビリ) 中医協の専門委員に就任

中医協は、健康保険、船員保険、国民健康保険者、被保険者等を代表する支那側委員と、医師、歯科医師、薬剤師を代表する診療側委員が保険契約の当事者として協議

し、両者を調整する公益委員の三者で構成されている。専門事項を審議する必要があると認められる場合には、10名以内の専門委員を置くことができ、田村教授は歯科の代表として専門委員に就任した。任期は2年。

附属病院矯正歯科の小森教授の最終記念講義は、2018年12月13日午後6時より生命歯学部

九段ホールにおいて開催された。演題は「矯正歯科のこれから」で、口唇口蓋裂や広範囲顔面多発骨折などに対する矯正歯科の役割について講義した。最終講義が終わり、花束が贈呈され、中原泉

新潟生命歯学部小児歯科学講座の関本恒夫教授の最終記念講

義は、2019年1月30日午後6時15分より新

2005年(平成13)4月新潟歯学部附属病院小児歯科に配置換え、06年4月教授に就任、2013年(平成25)4月新潟生命歯学部小児歯科学講座教授に配置換え。新潟病院病院長、新潟生命歯学部



大勢の同門会員、学生たちと記念撮影する小森教授(前列中央)



記念講義日に誕生日を迎え、花束を手にする関本教授(後列中央)

小森教授は1988年(昭和63)3月長崎大学歯学部卒業、92年3月同大学大学院歯学研究科修了。94年(平成6)4月本学歯学部歯科矯正学教室助手、99年4月講師、2005年4月附属病院小児・矯正歯科に配置換え、07年4月准教授を経て13年4月教授に就任した。

関本教授に花束を贈る黒木淳子准教授(右)

羽村教授(東京・高齢者日本歯学系学会協議会理事長に就任)

永山正人先生(北海道日本歯業経営コンサルタンツ協会理事長)

志賀教授(東京・補綴生命歯学部歯科補綴学第一講座の志賀博教授)

歯の細胞バンクと認定医講習会

歯の細胞バンクでは、本年は左記の日程で、コーディネーターと認定医の講習会を開催する。「歯の細胞バンク・コーディネーター」の認定資格は、本学の認定医が在籍する医療機関に勤務する歯科衛生士と歯科技師。資格取得後は、歯の細胞バンクについての患者さんへの説明と同意、

## 小森教授(東京病院 矯正歯科) 関本教授(新潟 小児歯科) 最終記念講義

小森教授は1988年(昭和63)3月長崎大学歯学部卒業、92年3月同大学大学院歯学研究科修了。94年(平成6)4月本学歯学部歯科矯正学教室助手、99年4月講師、2005年4月附属病院小児・矯正歯科に配置換え、07年4月准教授を経て13年4月教授に就任した。

関本教授は1975年(昭和50)3月本学卒業(第64回卒)。同年6月歯学部小児歯科学教室助手、1985年10月講師、96年9月新潟歯学部小児歯科学講座に配置換え、同年10月助教

念品が贈られた。関本教授は1975年(昭和50)3月本学卒業(第64回卒)。同年6月歯学部小児歯科学教室助手、1985年10月講師、96年9月新潟歯学部小児歯科学講座に配置換え、同年10月助教

は、本年1月、特定非営利法人日本歯業経営協会に就任した。日本歯業経営協会は、咀嚼システムと全身機能との関連を明らかにし、21世紀の長寿社会における保健、医療、福祉に貢献することを目的に設立された学会である。咀嚼に関する基礎的研究と、歯科臨床、医学、栄養学、食品学などの専門家を交えて、咀嚼が健康にどのように関係しているかを研究し、あわせて国民に広く咀嚼の意義を伝えることを主眼としている。

### 第1期 歯の細胞バンク コーディネーター講習会

『歯の細胞バンク コーディネーター』とは、将来の再生医療にもちいる歯の細胞を保管する「歯の細胞バンク」について、患者さんにわかりやすく説明し、細胞を預ける同意をいただくことで、歯の細胞バンク認定医のサポートを行います。説明・同意から患者さんに寄り添うことで、「歯の細胞バンク」をつづいた未来の医療に貢献することができます。

**2019年**

- 第1回 5月19日(日)
- 第2回 5月23日(木)
- 第3回 12月8日(日)
- 第4回 12月19日(木)

対象：歯科衛生士、歯科技工士  
時間：(日)13:00~15:00 (木)18:00~20:00  
会場：日本歯科大学 生命歯学部(東京・飯田橋)  
費用：無料(いずれか1回受講ください)  
申込：QRコードよりお申込みください  
問合せ：03-3261-8626 (歯の細胞バンク事務局)

### 第3期 歯の細胞バンク認定医講習会

2019年

- 第13回 7月28日(日)
- 第14回 11月24日(日)

時間：13:00~15:00  
会場：日本歯科大学 生命歯学部(東京・飯田橋)  
費用：無料(いずれか1回受講してください)  
申込：歯の細胞バンクホームページよりお申込みください

LINEスタンプはじめました!

Ver.01 (季節版) Ver.02 (お祝い版)

QRコードを読みとって、ここからスタンプゲット!

### 歯の細胞バンク認定医講習会 コーディネーターと認定医を求め

歯の細胞バンクでは、本年は左記の日程で、コーディネーターと認定医の講習会を開催する。「歯の細胞バンク・コーディネーター」の認定資格は、本学の認定医が在籍する医療機関に勤務する歯科衛生士と歯科技師。資格取得後は、歯の細胞バンクについての患者さんへの説明と同意、

は、本年1月、特定非営利法人日本歯業経営協会に就任した。日本歯業経営協会は、咀嚼システムと全身機能との関連を明らかにし、21世紀の長寿社会における保健、医療、福祉に貢献することを目的に設立された学会である。咀嚼に関する基礎的研究と、歯科臨床、医学、栄養学、食品学などの専門家を交えて、咀嚼が健康にどのように関係しているかを研究し、あわせて国民に広く咀嚼の意義を伝えることを主眼としている。